



校訓

一中だより



貝塚市立

第一中学校

令和4年度第10号

2023.2.9

学校教育自己診断の結果を受けてさらに良い学校へ

～校長室から～

12月に学校教育自己診断に生徒の皆さんと保護者の皆様にご協力いただきました。その結果がまとまりました。ここでその一部を紹介します。

生徒の皆さんの回答で、最も数字の高かったものは、「私が間違ったことをしたとき、先生は指導してくれる」で、「よくあてはまる」「ややあてはまる」と回答した生徒は96%で、昨年度よりも3ポイント高くなりました。これは私たちにとってうれしい結果でした。

一方、最も数字の低かったものは、「授業でわからないところは、先生に質問している」で、「よくあてはまる」「ややあてはまる」と回答した生徒は65%で、昨年度よりも1ポイント高くなりました。

ちなみに、「わかりやすい授業が多い」という項目について、「よくあてはまる」「ややあてはまる」と回答した生徒は78%で、昨年度よりも1ポイント低くなりました。

さらに保護者の皆様の回答では、「子どもは、自分に見合った学習方法を身につけている」という項目について、「よくあてはまる」「ややあてはまる」と回答した生徒は55%で、昨年度よりも1ポイント高くなりました。これは私たちにとって少しショックな結果でした。もう少し高い結果をめざして今年度取り組んできたからです。

学校教育の重要な中身である授業、学習について、この結果を真摯に受け止めたと思います。私たちはもっと質問のしやすい授業、もっとわかりやすい授業、それぞれに見合った学習方法を身につけられる学校をめざして取り組んでいきます。

今回の「一中だより」の裏面にも、学校教育自己診断の結果分析を載せています。ぜひお読みください。

【一中ホームページもぜひご覧ください】 →

貝塚一中



知らないうちに、拡めちゃうから。



【大切な 命を守る ヘルメット】

道路交通法の一部改正により、すべての自転車利用者にヘルメットの着用が努力義務化されます（令和5年4月1日～）。ある調査で、自転車事故で死亡した人の約70%が、頭部に致命傷を負っていること、また、ヘルメットを着用していない場合の致死率は、着用している場合と比べて約4倍も高くなることが明らかになっています。交通事故の被害を軽減するためには、頭部を守ることが重要です。あなたの大切な命を守るため、自転車使用時のヘルメット着用に努めましょう。

道路交通法 第63条の11 第1項

自転車の運転者は、乗車用ヘルメットをかぶるよう努めなければならない。



生徒指導部より



自転車は「車」のなかま

自転車安全利用五則

- 1 車道が原則、左側を通行
歩道は例外、歩行者を優先
- 2 交差点では信号と一時停止を守って、安全確認
- 3 夜間はライトを点灯
- 4 飲酒運転は禁止
- 5 ヘルメットを着用



令和4年11月1日改正



乗るなら
守って
安全運転



大阪府警察



電話相談「すこやかダイヤル」推進週間の実施について

ひとりで悩んでいませんか？ なんでも相談してくださいね

電話相談推進週間

すこやかダイヤル
第4期 2/6(月) ▶ 2/10(金)

友だちに
無視された

部活が
しんどい

やる気が
でない

進路に
悩んでいる

学校に
行きたくない

家事が
たいへん



電話
午前9時30分
～
午後5時30分

メール・FAX
24時間受付
(回答は後日)

※上記期間以外も、同様に相談を受けています

児童生徒のみなさん

☎ 06-6607-7361
sukoyaka@edu.osaka-c.ed.jp

(24時間対応) ☎ 0120-0-78310

保護者の方

☎ 06-6607-7362
sawayaka@edu.osaka-c.ed.jp

教職員の方

☎ 06-6607-7363
sinayaka@edu.osaka-c.ed.jp

《高校中退に関する学びふたたびホットライン》 ☎ 06-6607-7353
《FAX相談》 ☎ 06-6607-9826 大阪府教育センター教育相談室

裏面もぜひご覧ください

令和4年度「学校教育自己診断アンケート」に関する考察



「with コロナ」の学校生活も丸3年となりました。3年前に突如発生したコロナ禍による大きな混乱の中、入学した3年生が間もなく卒業を迎えます。度重なる予定の変更と、感染予防のためのさまざまな制限の中、3年生を筆頭に、生徒たちは日々の学習に、折々の行事に真摯に取り組み、それぞれの学年に応じて1年分の、2年分の、3年分の成長を見せてくれています。ロシアのウクライナ侵攻からも今月末で1年が経とうとしています。

子どもたちに、学力はもとより、混迷する社会をたくましく生き抜いていく力を育てていくため、今回のアンケートを参考に、一中の教育活動をより充実させるべく、教職員一同、更なる努力をしていく所存です。保護者の皆様におかれましては今後とも本校教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

今回のアンケートも昨年同様、ほとんどの項目で5%以内の小幅な増減に留まりました。

生徒アンケートで一番伸びたのは「先生は、いじめや校内暴力などについて対応してくれる」の+5%で肯定的回答が90%となりました。喜ばしい結果ではありますが、この数字に満足することなく、肯定的回答100%を目指し、今後も適切かつ迅速な対応を心がけていきます。

いじめや暴力は何があっても許されことではありませんし、いじめ・暴力のない学校が理想であることは言うまでもありません。しかし、「いじめゼロ」を目標にすることには、いじめの見逃しや隠ぺいの懸念が付きまといまいます。本校はいじめゼロを理想としつつも、どの学校でも、誰にでも「いじめは起こりえる」ものであると捉え、いじめ見逃しゼロ、いじめ未解決ゼロを目標に、今後とも子どもたちの心を育む教育を推進していきます。

最大のマイナスとなったのは「担任の先生以外にも相談できる先生がいる」の-3%で、肯定的回答は70%でした。その反面、「担任の先生は、私たちの悩みや相談事に応じてくれる」は+4%で、肯定的回答は85%となりました。担任との信頼関係が構築されているのはもちろん喜ばしいことですが、相談できる、信頼できる相手は多いに越したことはありません。

自立とは誰にも頼らずに生きていくことでも、特定の人にだけ頼って生きていくことでもありません。学校においても、社会においても、多くの人に頼り、頼られて生きていくことこそが自立であると私たちは考えています。我々教職員も、誰もが、誰からの相談でも受けられる存在となることを目指して、今後とも子どもたちとの関係づくりを進めていきます。

保護者アンケートで5%を超える増減があったのは「学校の施設・設備は、学習をすすめる上でほぼ満足できる」が-6%で69%の肯定的回答となりました。施設・設備に関連して、今年度は市の施策で体育館への空調及びLED照明の設置工事が行われました。第一義的には避難所としての機能充実が目的ですが、教育活動の場においても夏場の熱中症予防や、明るく見やすい照明による競技力向上に一役買ってくれることと期待しています。その他にも、市によって美術室にも空調が設置されましたし、学校独自の動きとしては、保護者の方からのご意見を取り入れ、各教室の廊下側窓ガラスに飛散防止フィルムを貼り付けました。また、昨年度の3年生教室に続いて、今年度は1年生の教室へのプロジェクター設置工事も完了しました。来年度は2年生教室へもプロジェクターを設置すべく計画しております。今後も皆様のご意見を生かしつつ、快適で安全な環境づくりを進めていきます。

保護者アンケートで一番増加したのは「子どもは、積極的にクラブ活動に参加している」の+5%で、肯定的回答は69%でした。この項目は昨年度の保護者アンケートでは-7%と最大のマイナスでしたが、今回の結果は、この1年間、感染予防を心がけ、内容を工夫しながら一生懸命活動を続けてきた生徒たちの努力を裏付けるものであらうと嬉しく思います。

一中ではクラブ活動を「生徒たちが主体性を発揮して切磋琢磨する重要な教育の場である」と位置づけ、どの部も日々熱心に活動に取り組んでいます。一方で、少子化による部員数減少により、競技に必要な人数を満たすことが難しい部活が出てきたり、生徒数・学級数の減少にともなう教職員定数削減により、配置できる顧問の数に余裕がなくなってきたりといった問題が生じ始めています。生徒たちの活躍・成長の場としての必要性は我々教職員が誰よりも理解しているながら、現状は、現在の部活数を維持することすら困難な状態となっています。必要不可欠でありながら持続困難。難しい課題ではありますが、生徒たちのニーズや地域移行の先行き等を見極めつつ、保護者の皆様や地域の皆様のご協力も仰ぎながら、持続可能な部活動を目指していきたいと思えます。

